

就労支援施設における当事者と支援者を支援する 協働型ICT支援システムの紹介

- 小越 咲子（独立行政法人国立高等専門学校機構 福井工業高等専門学校）
田中 規之（合同会社ナチュラル）
小越 康宏（国立大学法人福井大学 学術研究院工学系部門）
伊藤 洋一・若松 正浩・菅野 朋之・鈴木 亮
（株式会社日立ソリューションズ東日本）

障がい者就労支援を取巻く環境

発達障がい等をかかえ特別な支援を必要とする方に対し、障がい者就労施設では、個人特性に応じた支援や対応が求められています。

その為に個別教育支援計画の作成が重要であります。施設職員の多忙さから、作成自体の作業が負担となり、十分に支援の現場に活かされていない状況です。

当事者と指導者を情報連携することで協働を支援し本人の成長を促すシステム

ぴこっとは主に以下の観点で開発したシステムです。

- ・学校/家庭/専門機関を連携したICTプラットフォーム
- ・学校や家庭での行動把握の為にデータを収集
- ・人間生活の障害環境を表す国際的なICFコードの採用
- ・個人特性に応じた個別教育支援計画と支援の提案



就労支援施設での実証実験成果

行動の定量化等により、支援者間の協働を下支えする事が可能となり、以下の成果が得られます。

- ・関係者間での正しい共通理解を促すことができる
- ・保護者と学校、就労施設、専門機関との密な連携ができる
- ・本人のライフログを時系列で管理できる
- ・学校卒業や支援機関が変わる際でも、支援者の交代に際し、共通理解の促進や切れ目ない支援の継続が可能

チェックリストによりモチベーションが高まった

体調の変化に気づき易いので体調管理をできるようになった

病院や訪問看護師、相談員とも連携できると良い

登録画面サンプルと就労B施設利用者の声